

ファーマネクスト

PharmaNext

次世代を担う薬剤師のスキルアップをめざして

2005.11.10

No.23

特集
1

専門薬剤師認定制度
スペシャリストを養成しよう！

特集
2

薬歴を考えよう
患者サービスの
さらなる高みを目指して



連載

薬局から発信する
生活習慣病予防教室と
薬草生け花・薬膳

シリーズ

薬歴管理
症例からみる
患者へのアプローチ

特集 1

専門薬剤師認定制度

スペシャリストを養成しよう！



調剤薬局の現場で、特定の疾患の薬物療法などに関する専門的な知識や技能を身に付けた薬剤師を養成する「専門薬剤師認定制度」を独自に構築する動きが出始めている。スペシャリストとして活躍できる薬剤師を養成することによって、服薬指導の充実などを図る方針だ。（佐藤 慎也）

背景

薬局でも専門薬剤師が必要

医療の高度化や専門分化、薬物療法の進歩などに伴って、医療現場では、特定の疾患の薬物療法などに関する専門的な知識や技能を身に付けた薬剤師（専門薬剤師）が求められてきている。薬局薬剤師のなかには、「高度医療や専門医療などを手掛ける病院の場合には専門薬剤師が必要かも知れないが、薬局の場合はどこまで必要か疑問」などといった声も一部にあるようだ。

しかし、医薬分業の進展や在宅医療の普及など薬局を取り巻く環境が変化する中で、薬局の現場でも専門的な知識や技能を持った薬剤師が必要とされる場面はあるはずだ。そうしたことを考えれば、病院だけでなく、やはり薬局でも専門薬剤師を養成することが必要だろう。

個々の企業レベルで専門薬剤師認定制度を構築

専門薬剤師を養成するための取り組みとしては、日本病院薬剤師会が、感染制御、がんなどを対象にした専

門薬剤師認定制度を構築することを目指している。また調剤薬局の現場でも個々の企業レベルでこうした制度を構築する動きが出始めている。

具体的には、調剤薬局経営を手掛けるファルマネットぎふ（岐阜）、ジオグループ（香川）、名北調剤（愛知）がそれぞれ独自に制度を構築している。またこうした制度を新たに立ち上げることを計画している企業も複数ある。今後は同様の動きがさらに広がる可能性もありそうだ。

各社の取り組み

ファルマネットぎふ（岐阜県）

今春から専門薬剤師認定制度を導入

岐阜県で調剤薬局を展開するファルマネットぎふ（岐阜市、朝倉恵美子社長）は今春から、糖尿病、呼吸器、栄養など15分野を対象にした専門薬剤師認定制度を導入した。早ければ来年秋ごろに専門薬剤師の第一号が誕生する見通しだ。

専門分野を持つかかりつけ薬剤師の養成などが目的

同社は01年5月に設立。岐阜市や関市で調剤薬局を3店舗展開してい

る。店舗全体の1日処方せん枚数は約300枚。スタッフは28人で、このうち薬剤師は15人（常勤11人、非常勤4人）。同社は、特定の専門分野を持つかかりつけ薬剤師を養成することや、薬剤師のモチベーションを高めることなどを目的として、今春から常勤薬剤師を対象にした専門薬剤師認定制度を導入した。

対象は、糖尿病、呼吸器、栄養など15分野

同制度は、専門分野に関する研修を受け、認定条件をクリアした薬剤師を専門薬剤師に認定するというも

の。専門分野としては、「糖尿病」「呼吸器」「循環器」「消化管」「腎障害・透析」「精神科」「がん」「リウマチ」「皮膚」「小児」「栄養」「褥瘡」「副作用・相互作用」「性差」「介護・



薬局でも専門薬剤師が必要とされている



ファルマネットぎぶの店舗のひとつ
「しいのみセンター薬局」

在宅」の計15分野を設けている。今後も必要に応じて対象分野を増やしていく方針だ。

独自のプログラムに沿って 各種研修を実施

認定の手順は、①専門薬剤師を目指す薬剤師が、社長と面談した上で専門分野を決定する②同社独自の「専門薬剤師養成研修プログラム」に沿って各種研修を受ける③認定条件をクリアした薬剤師を専門薬剤師に認定する—などといったかたちとなっている。薬剤師が希望すれば、複数の分野で認定を受けることも可能だ。

研修プログラムには、連携先の医療機関での専門分野に関する研修、専門分野に関して一歩進んだ活動を行っている薬局での研修のほか、専門分野に関する各種研修会やセミナーなどへの参加、専門分野に関する独学・自己研修なども盛り込まれている。ちなみに、薬局研修の受け入れ先については、会社あるいは専門薬剤師を目指す薬剤師が探すことになっている。

数多くのハードルをクリア することが認定の条件

認定条件は、①医療機関研修を修了②薬局研修を修了③同社独自の「専門薬剤師認定試験」に合格する④ロールプレイか面接試験に合格⑤専門分野に関する各種研修会やセミナーなどに参加し、所定の単位を取得する⑥全国レベルの学会や学会誌で専門分野に関する発表や投稿を1回以上行う⑦日本薬剤師研修センター認定薬剤師の認定を取得または取得するための研修を受けている—など。これら数多くのハードルをクリアすれば専門薬剤師として認められる。

認定試験は、医療薬学会認定試験、薬剤師国家試験などを参考にして今後作成する予定。認定を受けた薬剤師は、名札に専門薬剤師であることを記載するとともに、名刺も作成する。認定を受けるために必要な研修の費用は原則として会社が負担する

が、認定取得後の給与などの変更は考えていない。

専門分野の患者の担当、資料作成、教育など幅広い役割を期待

専門薬剤師の役割としては、「専門分野に関する医療活動」「専門分野の薬や疾病に関する資料の収集管理・作成・評価」「専門分野に関する研究・講演・教育」など幅広い活動を想定している【表①】。

例えば、医療活動では、専門分野の患者を担当することや、専門分野に関する患者・医師・看護師などからの質問に対する回答、専門分野に関する薬局の活動方針の作成・遂行などがあげられる。

薬や疾病に関する資料の収集管理・作成・評価では、専門分野に関する薬の初回投与時指導マニュアル、患者用リーフレット、薬剤情報の作成など、研究・講演・教育では、専門分野に関する学習会や健康座談会

表1 専門薬剤師に期待される役割

- ①専門分野に関する医療活動
 - ・専門分野の患者さんを担当患者とするなど、その薬のお渡しを積極的に行う
 - ・専門分野に関して、患者さんや医師、看護師からの質問に積極的に調査、回答する
 - ・専門分野に関する活動方針を作成、提案するとともに、責任者となって方針を遂行する
- ②専門分野の薬剤や疾病に関する資料の収集管理・作成・評価
 - ・専門分野に関する薬剤の患者用リーフレットの管理・作成
 - ・専門分野に関する薬剤の初回投与時指導マニュアルの作成
 - ・専門分野に関する薬剤の添付文書の管理
 - ・専門分野に関する薬剤のパンフレットや文献の管理
 - ・専門分野に関する患者用薬剤情報の作成
- ③専門分野に関する研究・講演・教育
 - ・専門分野に関する患者や地域住民向けの新聞・情報誌の原稿執筆
 - ・専門分野に関する学習会や健康座談会の講師
 - ・専門分野に関する学会発表や投稿
 - ・専門分野に関する指導を新人薬剤師・研修薬剤師・薬学生に行う
 - ・専門分野に関する症例のまとめを行う
- ④その他専門分野に関する創意工夫を凝らした業務を行う
- ⑤必要に応じて追加する。

の講師、新人薬剤師、研修薬剤師、薬学生などに対する指導などをそれぞれ期待している。

来年秋ごろに専門薬剤師の 第一号が誕生へ

同社には現在、11人の常勤薬剤師が勤務しているが、これらすべての薬剤師が各分野で専門薬剤師の認定を目指している。この中には、複数の分野で認定を目指している薬剤師もいる。認定条件の一部をすでにクリアしている薬剤師もあり、早ければ来年秋ごろに第一号の専門薬剤師（栄養）が誕生する見通しだ。

専門薬剤師がいれば患者に より満足を与えられる

朝倉社長（薬剤師）は、「薬局薬剤師もジェネラリストとしての能力に加えて、特定分野の専門的な知識や



朝倉社長

技能を身に付けることが必要。専門薬剤師がいれば服薬指導などの面で患者により満足を与えることができる。今後も専門薬剤師の養成に力を注いでいきたい。特に糖尿病、栄養、呼吸器、腎障害・透析などの分野についてはできるだけ早く養成したい」と話している。